

第20回未来医療セミナー

演題：癌化と再生の接点としての間葉系幹細胞

演者：京都大学再生医科学研究所
組織再生応用分野 教授
戸口田 淳也 先生

《要旨》

間葉系幹細胞は自己幹細胞であり、採取・培養が容易であることから既に臨床応用が開始されており、良好な成績も報告されている。我々も犬を用いた壊死骨の再生実験での良好な結果をもとに、ヒトの骨壊死病態に対する臨床試験を開始する予定である。しかしその生物学的本態はいまだ解明されていない。特に近年、ES細胞のみならず組織幹細胞の癌化の可能性に関する報告が相次いでおり、再生医療を遂行するにおいて、癌化の問題はあたかもダモクレスの剣の如く、常に不安を感じさせる。そのような不安が杞憂であることを示すためにも間葉系幹細胞の増殖・分化の分子機構の解明が必要であり、我々は肉腫細胞の解析からのアプローチでこの課題に取り組んでいる。

日 時：2006年5月24日(水) 18:00より

場 所：大阪大学医学部附属病院外来棟4階 第1カンファレンス室

連絡先：未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel：06-6879-6557/6552, Fax：06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協 賛：21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-